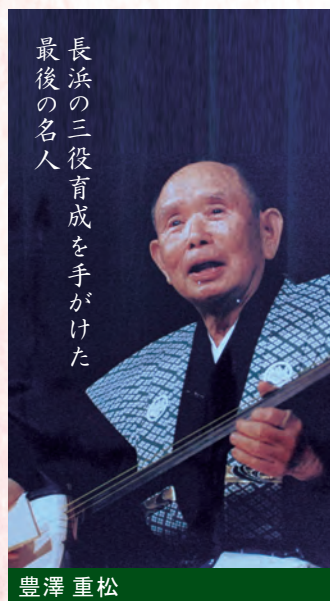


曳山を支える人たち

長浜曳山祭を支えてきた人々の功績をご紹介します



2017 3/13 月 > 5/7 日

- 開館時間: 9時～17時(入館は16時30分まで)
- 入館料: 大人600円、小中学生300円
(団体20名様以上2割引) ※長浜市・米原市の小中学生は無料
- 主催: 公益財団法人長浜曳山文化協会

NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM
曳山博物館
ON THE CROSSROAD OF OTEMON ST. AND HAKURITSUKAN AVE.

曳山博物館の曳山展示

「長浜曳山祭の曳山行事」は全国32の「山・鉦・屋台行事」とともにユネスコ無形文化遺産に登録されました。祭りは4月15日を中心に開催され、絢爛豪華な曳山の上で演じる「子ども狂言」が見どころです。曳山博物館では、12の曳山のうち、翌年の祭りで子ども狂言を演じる曳山(出番山)4基を収蔵。常時2基ずつ交替で展示しています。

4基特別公開展示	4月2日(日)～23日(日)
2基展示(猩々丸・壽山)	4月24日(月)～7月2日(日)、9月11日(月)～12月17日(日)
2基展示(高砂山・鳳凰山)	7月3日(月)～9月10日(日)、12月18日(月)～4月6日(金)



曳山を支える人たち

2017. 3/13 月 > 5/7 日

祝

ユネスコ登録!

「長浜曳山祭の曳山行事」を含む
日本の「山・鉦・屋台行事」(33件)が
ユネスコ無形文化遺産に
登録されました!

戦後の長浜曳山祭を支えてきた 人々の功績を関連資料からご紹介します。

これまでの長浜曳山祭の歴史を紐解くと、曳山の巡行や子ども狂言(歌舞伎)の中止だけでなく、祭りさえ中止になることが幾度となくありました。第二次世界大戦が勃発した昭和初期には、13年間も曳山の巡行と子ども狂言を行うことができませんでした。しかし、昭和23年の市制五周年記念で行われた、小谷村丁野(現長浜市小谷丁野町)の子どもたちによる曳山での狂言が契機となり、昭和25年に長濱八幡宮の祭礼で復活しました。長年行われなかった祭りを再開することは大変なことです。それでも先人たちの祭りに対する誇りと情熱によって復活を果たし、現在まで連綿と続けられてきました。長浜曳山祭はそれぞれの時代の波に翻弄されながらも、ときに柔軟に対応し、変化しながら現在の祭りを作り上げてきたのです。

今回の展示では、長年にわたり長浜曳山祭に尽力されてきた人々を中心に、今なお支え続ける人たちの功績を関連資料から紹介します。



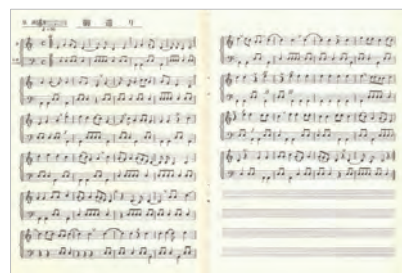
黒漆塗金青貝流水紋高蒔絵見台



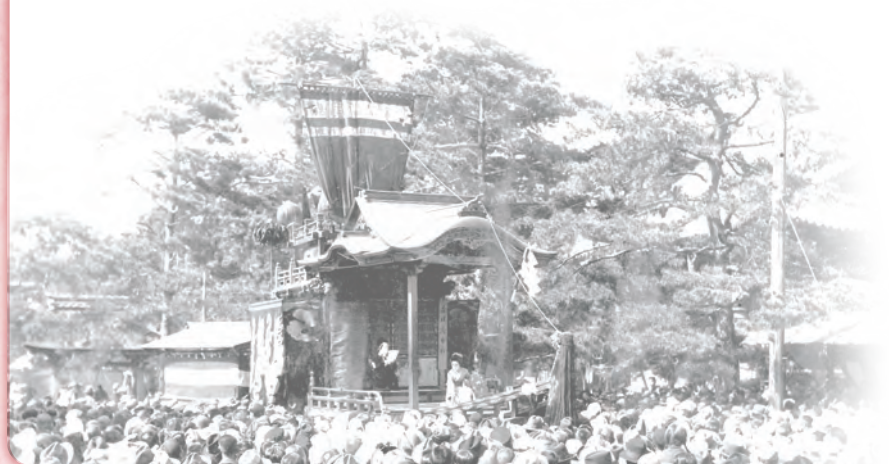
三味線



古写真(昭和23年・市制5周年記念)



長浜祭曳山ばやし



NAGAHAMA HIKIYAMA MUSEUM

曳山博物館

ON THE CROSSROAD OF OTEMON St. AND HAKUBUTSUKAN Ave.

滋賀県長浜市元浜町14番8号

[TEL] 0749-65-3300 [FAX] 0749-65-3440

<http://www.nagahama-hikiyama.or.jp/>

入館料

	大人	小中学生	障がい者
個人	600円	300円	無料
団体 (20名様以上)	480円	240円	障がい者手帳 の提示で本人と 介護者1名

*長浜市・米原市の小中学生は無料

■ 9時～17時(入館は16時30分まで)

■ 休館日: 年末年始(12月29日～1月3日)



●JR長浜駅から徒歩7分 ●長浜ICより車で10分